

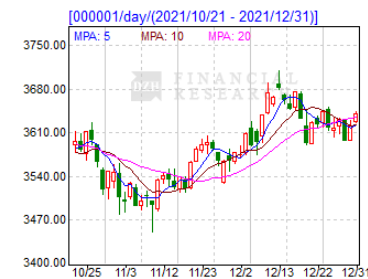


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 薬明生物技術(02269)	92.55	6.20
2 アリババ集団(09988)	118.90	5.22
3 JDドットコム(09618)	274.00	4.90
4 李寧(02331)	85.35	4.66
5 ネットイース(09999)	157.50	4.51
6 新世界発展(00017)	30.85	4.05
7 石業集団(01093)	8.47	3.42
8 海底撈国際(06862)	17.60	3.41
9 信義ガラス(00868)	19.50	2.96
10 長江実業地産(01113)	49.15	2.93

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 恒安国際集団(01044)	40.15	-3.02
2 吉利汽車(00175)	21.30	-2.96
3 バドワイザーAPAC(01876)	20.45	-2.62
4 舜宇光学科技(02382)	246.60	-2.38
5 招商銀行(03968)	60.55	-1.78
6 碧桂園(02007)	6.92	-1.70
7 シンベック(00386)	3.63	-1.63
8 銀河娛樂(00027)	40.40	-1.58
9 碧桂園服務(06098)	46.70	-1.48
10 チャイ・モバイル(00941)	46.80	-1.47

▼今週の主なイベント

- 1月4日(火)
- 【米国】ISM 製造業景況指数(12月)
- 1月7日(金)
- 【中国】貿易統計(12月)
- 【米国】雇用統計(12月)

【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落 率(%)	年初来騰 落率(%)	20年末株価
NYダウ	36,338.30	-59.78	-0.16	1.08	18.73	30,606.48
NASDAQ	15,644.97	-96.59	-0.61	-0.05	21.39	12,888.28
日経225	28,791.71	-115.17	-0.40	0.03	4.91	27,444.17
上海総合	3,639.78	20.59	0.57	0.60	4.80	3,473.07
滬深300(CSI300)	4,940.37	18.86	0.38	0.39	-5.20	5,211.29
ハンセン	23,397.67	285.66	1.24	0.75	-14.08	27,231.13
中国企業	8,236.35	139.91	1.73	0.42	-23.30	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.7%高と続伸、上海総合指数は0.6%高

香港市場ではハンセン指数が週間で0.7%高と続伸した。クリスマス休暇や年末の半日立ち合いで3日半の取引。本土からの「南向き取引」が年末で12月29日から停止となり、全般に薄商いのなか23000ポイントを下値めどとして意識した値動きとなった。30日には一時23000ポイントを割り込んだが、年末31日は中国の製造業PMIが予想を上回る強い結果だったことを好感して続伸した。本土市場では上海総合指数が週間で0.6%高と3週ぶりに反発。方向感に乏しい展開が続いたが、強い製造業PMIが好感された。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、新型コロナの感染拡大が相場の重しに

香港市場は上値の重い展開か。世界で新型コロナ変異株の感染が拡大するなか、中国でも感染が拡大基調にあり、経済活動の停滞による景気の先行き懸念が相場の重しとなりそうだ。中国の経済指標には一部で市場予想を上回るものも出ているが、週末には中国の貿易統計や米国の雇用統計の発表を控えており、様子見姿勢が強まることも予想される。一方、本土市場はしっかりの展開か。節目の3600ポイントが下値支持線として意識されており、新型コロナの感染拡大は懸念材料だが、政策期待が相場の下支えとなりそうだ。

▼今週の期待材料

- ◆中国国家统计局が発表した12月の製造業PMIは市場予想を上回る50.3、前月から0.2ポイント改善
- ◆北京冬季五輪の開幕まで1カ月、2月4日の開幕が迫り関連銘柄への期待が高まる可能性も
- ◆地域の包括的経済連携(RCEP)が1月1日に10カ国で発効、関税引き下げによる貿易拡大が追い風に

▼今週の懸念材料

- ◆世界で新型コロナの変異株「オミクロン株」の感染が拡大、中国でも感染拡大で景気の先行きに警戒感
- ◆米国が量的緩和の段階的縮小加速へ、22年は3回の利上げ予想でグロース株にとっては逆風に
- ◆中国当局が22年の新エネ車補助金を21年比で30%削減、新エネ車補助金は22年末で廃止へ

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ センスタイム(00020): 上場後に株価が急騰、3日終値は公開価格比で約2倍に
- ☆ スカイワース(00751): 子会社の創維電器が深セン証券取引所への上場を申請
- ☆ チャイナ・モバイル(00941): 5日に上海証券取引所に重複上場、約481億元調達
- ☆ 五鉱資源(01208): ペルーのラスバンバス鉱山で1月3日に生産が全面再開
- ☆ BYD(01211): 12月の新車販売台数が76%増加、新エネ車は3.3倍に拡大
- ☆ 中国中車(01766): 10-12月に8件の受注を獲得、総額210億元
- ☆ 理想汽車(02015): 12月の「理想ONE」の納車台数が前年同月比2.3倍に拡大
- ☆ 聯邦製薬(03933): 自社株買いに5000万HKドルを追加投入、最大1億HKドルに
- ☆ 小鵬汽車(09868): 12月の納車台数が2.8倍に拡大、通期では3.6倍の9.8万台
- ★ キャセイ・パシフィック(00293): 乗務員5人が新型コロナ感染、違反の2人を解雇

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。